

2019年度第4回理事会 議事録

一般社団法人 日本損害保険代理業協会

日 時：2019年9月12日（木）13：00～17：02

会 場：日本代協会議室

出席者：全理事数 18名、出席理事数 18名、出席監事数 3名（杉本監事、渡辺監事、吉川監事）

会長 金子智明氏は、議長席につき、出席理事数の確認を行い、本理事会は定款第33条に基づき、有効に成立した旨を報告して開会を宣し、直ちに議事に入った。

会長挨拶骨子

・台風10号、15号などの影響により、九州北部特に佐賀の油濁汚染、神奈川南部、三重北部、そして千葉で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。今までにない形態の被害が続いて起きている。我々代理店、損保会社、損保協会が一体となり、早期復旧・復興、早期支払いに、役割を果たしていこう。

<業務報告>

・7/30(火)に京都国際会館にてほけんの窓口キックオフミーティングに野元専務とともに参加した。ほけんの窓口の社員・保険会社・金融機関・業界関係者約1,700名が参加し盛会に開催された。窪田社長は、かつてない業績を残し、一橋大学院国際企業戦略研究科が主催する「ポーター賞」を受賞し、2年連続で「健康経営優良法人-ホワイト500」に上位認定されるなど企業価値の向上を実現した1年だったと振り返った。一方で品質向上・レベルアップと格差の解消に関しては、課題も多く、要改善と指摘されていた。基軸となるのは窪田社長が繰り返し仰っておられる「お客さまの視点」「顧客本位の業務運営」である。本年度は「情報セキュリティ態勢の一層の強化」であり、「1.お客さまの情報は、『会社の命』であり、『お客さまとの信頼の原点』である。セキュリティには完璧を期す。2.お客さまの情報は、社員個人に帰属するものではなく、会社全体の財産である。3.1件でも漏洩があれば、築城3年落城1日となる。」と強調された。窪田社長の軸が座ったぶれない話を聴き、改めて背筋がピシッと伸びた。

自社経営において、規模等は異なるものの、ほけんの窓口グループの体制整備のレベルや顧客本位の業務運営の実践レベルとの距離感を強く意識しながらPDCAを回していくが、代協会員にはこの差を縮められるよう情報提供をはじめとする支援策の提供に注力する。日本代協アカデミーや代理店経営サポートデスクを活用いただきたい。

- ・8/27(火)にあいおい社プロ会で挨拶ならびに仲間づくり推進などに関する協力要請を行った。各地での連携をお願いする。
- ・9/7(土)JC保険部会の40周年記念式典・祝賀会が約120名の参加者を集めて開催された。参加メンバーと情報交換を行い、国際保険流通会議や防災経済コンソーシアムでの連携を確認した。
- ・台風で被災した千葉の南房総の状況だが、猛暑の中で停電が続き、各家庭では車で涼をとり、充電することが必至の状態で、ガソリンスタンドに長蛇の列が起きている。今までにない形態の被害が起きている。活動拠点で被害発生の際のBCPを再構築して、防災・減災の活動を実践しよう。
- ・明日9/13は全国ブロック長懇談会を開催する。事業計画の達成へ向け、現状確認、今後の対策を共有していこう。ともに知恵を絞り、汗を流していこう。

本日理事会も、闊達な論議をお願いする。

〔審議事項〕

1. 2019年度表彰者の選考（2018年度までの功労について2019年11月1日に表彰する）

選考会議議長を務めた小平副会長より、資料に基づいて、第9回コンベンションにおける表彰者の選考結果が報告され、審議・採決の結果、全会一致で承認された。

【決定したこと】

- ・2019年度表彰者（2019年11月1日のコンベンションの場で壇上表彰）は以下のとおり、鴨居 義成 氏（山口）、鈴木 孝 氏（岩手）、奥 忠道 氏（大阪）、飯島 俊治 氏（茨城）、高崎 巧 氏（愛知）、尾崎 健二 氏（石川）、井内 一志 氏（徳島）、高梨 重勝 氏（北海道）、大藪 邦嗣 氏（東京）
- ・代表者挨拶は、高梨 重勝 氏にお願いする（役員職暦通算年数33年と最長などから選考）
- ・2019年11月1日（金）コンベンション会場にて壇上表彰する

〔資料 審1.〕 2018年度表彰候補者一覧（P.1）

2. 事業計画推進に関する審議事項

「日本代協アカデミー」の利用料金ならびに支払方法に関して、石川委員長から提案があり、審議・採決の結果、全会一致で承認された。

【決定したこと】

- (1) 「日本代協アカデミー」利用料金体系・支払方法を10月から改定する。
（旧：利用者登録IDごと5,000円(税抜)をクレジットカードによるオンライン決済で支払う。次年度は自動更新。）
新：「利用者数に応じた代理店単位」とし、郵便払込取扱票による郵便振込方式で支払う。
次年度は自動更新ではなく、毎年10月1日を更新日とする。代理店賠償更新と同式の「郵便払込取扱票」（支払期日9月末）を郵送する。期中の利用者の増減については、料金の追徴・返戻は実施しない。期中解約の場合は、利用料金の返金は実施しない。

【利用者登録 合計人数】【年額利用料金（税込）】

・1人	5,500円
・2人～9人	11,000円
・10人～19人	22,000円
・20人～29人	33,000円
・30人以上	44,000円

- (2) 「お試し無料利用期間」（9月30日まで）内に、ID登録を完了した会員あてに、10月初旬に「郵便払込取扱票」（支払期日10月末）を郵送する。電話による督促を行うが、期日までに料金支払が無い場合は、11月から登録IDを削除する。
- (3) 10月以降に、新規に利用者ID登録を行った会員には、ID登録月の翌月初旬に「郵便払込取扱票」を郵送する（支払期限はID登録月の翌月末）。支払期限までに料金支払が無い場合は、ID登録月の翌々月から登録を削除する。
- 利用期間は「2020年9月30日まで」となるため、利用開始日に応じて初年度は下記料金とする。

【初年度利用料金】

ID新規登録日	年間利用料金割合	【例】合計人数2人～9人の場合
2019.10.1～2019.11.30	100%	11,000円(税込)
2019.12.1～2020.2.29	75%	8,250円(税込)
2020.3.1～2020.5.31	50%	5,500円(税込)
2020.6.1～2020.8.31	25%	2,750円(税込)
2020.9.1～2020.9.30	0%	0円(税込)

- ・9/17（火）日本代協にメールアドレスを登録済の会員あて、一斉案内メールを発信する。

【主な説明・意見】

- ・「日本代協アカデミー」について、意見・要望を聴取してきた結果、「募集人が多数いる代理店の利用料金が高額になってしまう」、「募集人が増える都度、決済するのは煩雑」、「クレジットカード払いには対応できない」という声が多く寄せられ、募集人の利用者ID登録が全員分行われず、一部にとどまっているケースが散見される。(9/9集計では、1,333店登録のうち1,000店が一人のみの利用者登録となっている。)

階層別の募集人教育カリキュラムで学習履歴(エビデンス)を募集人ごとに残すことができ、体制整備や顧客本位の業務運営のヒントも提供する「日本代協アカデミー」の機能を最大限生かすためには、「募集人全員の利用者ID登録」が必要であることから、さらなる利用者の拡大を目指し、利用料金体系ならびに支払方法(カード決済から代理店賠償で慣れている郵便振替方式へ)等の変更を行いたい。

- ・料金体系の人数カウントベースを利用者数とするか、各正会員の募集従事者数とするかについてもメリット・デメリットを検討した。教育委員会では、「性善説に基づき、王道で進む」と利用者数ベースが採択された。
- ・利用者ID登録が完了していない会員、利用者ID登録が募集人の一部のみに止まっている会員も散見される。9月末までの募集人全員登録の推進をお願いする。

〔資料 審2.〕 「日本代協アカデミー」利用料金と支払方法等の見直し(P.2-3)

参考：0826 日本代協アカデミー利用者登録数等(P.4-6) 席上配付資料

【報告事項】

1. 事業計画推進にかかる報告事項

(1) 地域担当理事からの報告

事前提出され、書庫に登載されている事業計画アクション・シートへの記載事項以外に以下のコメントがあり、共有された。

- ・日本代協アカデミーのID登録会や各種セミナー、人材育成研修の開催で品質向上や組織活性化をフォローした。
- ・ID登録会は教育委員と連携し、全代協フォローしたが、当初予定のID数に到達しておらず、個別検証(C・A)が必要。
- ・各代協の現状と課題を共有し、一緒に対策を実行している。
- ・今年度は、損保協会とのコラボが各地で成功し、セミナーや地域活動で活性化が図れた。(栃木の地震セミナー80名、群馬の防災・減災セミナー160名など)
- ・アクション・シートに重点取組項目を共通記載して、意識高揚を図った。
- ・サイバーセキュリティ対策の啓発にかかる研修は地域の全代協で完了した。
- ・オープンセミナー(「強みの経営スタイルを学ぶ」)を開催し、経営のヒントを提供できたが、非会員の参加が少なく、反省点となった。
- ・大阪代協と大阪府で協定締結した「建築防災啓発員」の活動を展開し、地域の消費者に安心・安全を提供する活動を展開する。
- ・各代協で、新制度となった三冠王の獲得を目指し、士気は高揚している。期日管理を徹底する。

- ・各代協から現状と課題を報告いただくフォームを統一した。
- ・理事通信 N0.9 を発行し、コミュニケーションを図った。
- ・ベンチマーク研修、青年部主催の働き方改革、8 代協会長による座談会など良質な代協の取り組みの情報を数多く提供することに注力した。
- ・ぼうさい探検隊の取り組み、各種セミナーの企画・運営、PR 動画の収録なども楽しく取り組み、実施状況を常に照会できるようにし、盛り上げる。

〔地区別委員会別資料〕各ブロック別事業計画アクション・シート（P.1-23）

（２）委員会担当理事からの報告

企画環境委員会

木下委員長から、資料に基づき、諮問・推進事項の推進結果、現状の課題と今後の対応策について報告があり、共有された。

【主な内容】

- ・共通化・標準化提案については、9/12 期限として委員経由で集約中である。
- ・代理店賠償の推進と募集上の留意点の情宣については、6 月に制作した音声入り P P T が好評で各地で活用が始まっている。今後は各損保社員の理解促進につなげたい。
- ・不適正事案等のモニタリングでは、かんぽ、郵政の案件報告が上がらないことが想定外。

〔地区別委員会別資料〕企画環境委員会報告シート（P.24）

教育委員会

石川委員長から、資料に基づき、諮問・推進事項の推進結果、現状の課題と今後の対応策について報告があり、共有された。

【主な内容】

- ・日本代協アカデミーの利用者 I D 登録の推進
- ・富山県代協の実践例の紹介があった。県理事会の審議の下、教育委員が登録代行を行い、現状、会員数の 80% を超える利用者 I D 数が登録となっている。百聞は一見に如かずで、まずは実際に使用してもらうことが第一と考え、強引なリードを試行した事例。
- ・損害保険大学課程の運営・検証・改善
- ・セミナー受講に際して、必要な事前課題に取り組みずに参加する受講生が一定程度おり、告知のあり方や受講要件のあり方の検討が必要である。
- ・ベストプラクティス事例の収集と展開（代理店の収益向上・体制整備強化に資する好取組事例の収集と展開）
- ・全会員あてのアンケート協力依頼の結果、B C P の取り組みに関する回答は 160 件集まった。リリースの方法などを教育委員会 P T で検討する。次回のテーマは「高齢者対応」を予定している。

〔地区別委員会別資料〕教育委員会報告シート（P.25）

組織委員会

中島委員長から、資料に基づき、諮問・推進事項の推進結果、現状の課題と今後の対応策について報告があり、共有された。

【主な内容】

・情報と熱が伝わる組織づくりの推進

- ・委員の行動が、入会者を見つけ出す「仲間づくり推進」に重きを置いており、肝心な組織づくり・組織活性化にまで至っていない。組織委員会とは各代協会長とともに代協経営を行う立場だという意識改革を行う。

組織NEWS：スケジュール確認・セミナーの企画・立案・運営から配信する。

・各代協ならびに各会員のホームページの活用推進

- ・委員が各代協のホームページのパトロールを行い、組織活性化につながるホームページのあり方を協議する。次回委員会で関わり方のガイドラインを検討する。

・仲間づくり推進

- ・今年度、損保協会会長会社であるあいおいニッセイ同和社に8/20に来会いただき、「会員拡大支援」に関する打ち合わせを行った。代理店賠償説明会の実施や各支店長名での代協活動のPR・メリット案内を行う。

〔地区別委員会別資料〕組織委員会報告シート（P.26-29）

CSR委員会

小田島委員長から、資料に基づき、諮問・推進事項の推進結果、現状の課題と今後の対応策について報告があり、共有された。

【主な内容】

・ぼうさい探検隊の積極推進

- ・8月末現在、順調に推移しており、応募118件・提出11件という状況であるが、応募「0」が3代協（秋田、愛媛、高知）あり、状況を確認中である。
11/6が提出期限であり、9月の動きが大変重要。

・「サイバーセキュリティ対策の啓発」

- ・9/26にCSR委員会と企画環境委員会合同でセミナー（講師：警視庁）を実施する。各地での企画・開催状況は委員会で確認する。県警によって対応に温度差がある。

・「防災・減災の具体的な取り組みの検討」（含むハザードマップの活用推進等）

- ・上信越ブロックの損保協会とコラボした公開セミナーや大阪代協が大阪府と協定締結した「建築防災啓発員」の活動について共有した。

〔席上配布資料〕CSR委員会報告シート（P.30）

広報委員会

野原委員長から、資料に基づき、諮問・推進事項の推進結果、現状の課題と今後の対応策について報告があり、共有された。

【主な内容】

・日本代協ホームページの抜本的改定の実施

- ・11月のコンベンション会場でリリースできるよう改定を進めている。前回打ち合わせではオープニングムービーやデザイン、ページ構成を決定した。

・PR企画の検討実施、代協の魅力を伝える動画の制作

- ・47代協と日本代協を「47種類の保険用語」のリレー方式でつないでいく形式の動画を制作中である。第一走者の「東京代協」は8/26に収録を終えた。「ふうたくん」がバトンを第二走者に渡す。各代協に割り当てる「保険用語」とシナリオ案は追って配信する。

各代協の取り組みのPRパート（約90秒）のシナリオを作成するため、9/6に各代協会長あてにアンケート（回答期限9/20）をお願いしている。収録はインプリメントという制作業者が現地に赴いて実施するので、各代協の出演者と収録日程の決定をお願いする。

- ・新日本保険新聞の連載企画で提携ができた。毎月1代協の取り組み紹介を記事掲載する。（2019年9月～2023年7月）記事執筆料（@6,000円を予定）も準備されている。
- ・「みなさまの保険情報」の活用推進
- ・購入率5%の達成を目指して、代協ごと拡販数の確認、購入勧奨をお願いしたい。
- ・2014年4月から料金は据え置きだったが、宅配送料の大幅値上げや2019年10月からの消費税値上げに伴い、値上げがやむを得ない状況となった。2020年1月号以降の分から値上げとなる。

〔地区別委員会別資料〕広報委員会報告シート（P.31-33）

ビジョン委員会

高橋委員長から、資料に基づき、諮問・推進事項の推進結果、現状の課題と今後の対応策について報告があり、共有された。

【主な内容】

- ・各会員資格と会費モデルの提供
- ・次回委員会で会費モデルについて、4代協事例を参考に協議する。また、案内の仕方についても協議する。
- ・大規模災害時の鑑定補助制度創設に向けた検討と折衝
- ・地震保険の損害調査サポートに関しては損保協会が、大規模風水害に関しては保険会社がサポート制度を立ち上げている。各窓口と情報交換のうえ、折衝にこぎ着けたい。
- ・代理店の体質強化に向けた支援策の検討・提供（代理店サポートデスクと連携）
- ・代理店サポートデスクも立ち上がり、相談案件も入ってきている。事案収集と効果的の支援を検討する。
- ・代協経営支援策の検討
- ・収支バランスや中長期的な視野に立った会費収入ウェイトの改善を支援する。

〔席上配布資料〕ビジョン委員会報告シート（P.34）

2. 前回理事会（2019.7.12開催）以降の主な業務報告

（1）正会員増強運動 8月末状況のご報告

【主な内容】

- ・2019年度は、8月累計で入会149店、退会349店、合計200店（前年度は入会136店、退会321店で合計185店）累計で11,945店となった。
- ・代申会社別では、東海日動70店、損保ジャパン日本興亜64店、三井住友20店、あいおい17店、AIG15店など全社で減少となった。
- ・代協別では鳥取、奈良、大阪、京都、岡山が入会基準目標を突破し、1冠を達成した。一方で入会が「0」と苦戦している代協が11代協ある。
- ・専業換算組織率では、全体では47.4%、京都80.3%、香川78.9%、高知78.6%、鳥取72.3%、滋賀71.7%、徳島70.8%、岡山70.3%と70%を超えている。

〔資料 報 1.〕「仲間づくり推進」の実施 8 末（各代協別・代申社別）(P.7-8)

〔資料 報 11.〕2019 年度「目指せ、三冠王！」ニュース (P.51)

(2) 代理店賠償「日本代協新プラン」更新状況

- ・ 8/9 (金) に各会員向けに、「新規・継続加入の募集」に関するパンフレット、重要事項説明書、保険料払込票等を発送、9/4 (水) を締切日として手続きを開始した。
- ・ 9/11 (木) 9 時 am の集計で、9,172 件、179,013 千円と昨年とほぼ同様のペースである。(昨年 9,197 件 175,736 千円)
- ・ 9/10 (水) に未手続会員に対して一斉 FAX を送信し、督促している。
- ・ 不備件数は昨年の 263 件に対して、9/12 時点で 216 件と減少している。また問合せ電話の件数も減少してきている。締切後の問合せ電話は、携帯電話からの問合せが大半である。(組織経営をしている会員からの締め切り後の問い合わせはほとんどない。)

(3) 損害保険大学課程

【主な内容】

損害保険トータルプランナー認定状況等

2019 年 7 月末時点	損害保険トータルプランナー	15,605 名 (+ 570 名)
	認定有効者数	13,918 名 (+ 556 名)
	損害保険プランナー	83,703 名 (+ 526 名)
	有効認定者数	41,188 名 (+ 277 名)
	ゴールドカード保有者	6,403 名 (+ 188 名)

〔資料 報 2.〕損保大学課程各コースの認定状況等 (P.9-10)

2019 年度コンサルティングコース受講者募集 (12/1 ~ 2/14)

- ・ 基本スタンス：事業計画で承認された通り、主体的に募集し、目標 840 名を達成する。
- ・ 昨年度は A I G 社のポイント評価があり、受験申込者が増えたが、今年度は、代理店認定制度や手数料ポイント制度上で大幅増が期待できる社は少ないと考えられるため、地道な取り組みが求められる。計画的に受講勧奨を行い、「3 冠王表彰」の早期確定項目として前倒しの取り組みをお願いする。
- ・ トータルプランナーバッジや写真入りゴールドカード認定証の作成が検討されているが、損保トータルプランナーは「お客さまから選ばれるメルクマールであること(業界横断の募集人の品質基準のひとつであること)」を改めて情宣する必要がある。
- ・ 日生で業務品質評価に設定されている「代理店内の認定保有者実数や割合を高める」基準を各損保社と意見交換する。
- ・ 募集ツール(紙媒体・データ)は 10 月 9 日 ~ 11 日の間に各代協に到着するよう配送する。

(4) コンベンション企画状況

【主な内容】

- ・ 来賓ご挨拶：金融庁監督局保険課長 横尾 光輔 様
日本損害保険協会 専務理事 岩崎 賢二 様
- ・ 基調講演：野村 修也 様 (中央大学法科大学院教授)
- ・ 4 分科会：中崎 章夫 様 (日本代協アドバイザー)

「デジタル社会化と代理店ビジネスの活路～コンパクト代理店が躍動する新たな地平を考える」

櫻井 英裕 様（リプラス(株)代表取締役）

「お客様にとっても従業員にとってもプラスになる企業作り」

岩崎 邦彦 様（静岡県立大学教授）

「21世紀の保険代理店を考えよう：事業の再定義とマーケティングの方向性」

牧野 司 様（東京大学大学院非常勤講師）

「シンギュラリティ時代の保険と代理店経営」

- ・代協の紹介を兼ねたご当地 PR は、九州北ブロックが担当
- ・8月9日 第9回コンベンション開催のご案内の通達を配信済。参加者数目安を示し、変更希望がある場合は9月13日までに回答いただき、協議・調整のうえ、9月20日までに参加者名と参加部門の回答をいただく。

〔資料 報 3.〕日本代協第9回コンベンション開催のご案内（P.11-13）

（5）業界紙懇談会の実施報告

- ・業界紙との懇談会：7月19日（金）15:30～17:30 開催、日本代協の昨年度事業報告及び本年度事業計画の概要、重点的な取組みを報告し、最近の業界を取り巻く諸課題について幅広い意見交換を行った。業界紙参加社：保険研究所、保険毎日新聞、新日本保険新聞

（6）活力研実施報告

【主な内容】

- ・活力研：7月24日（水）15:00～17:45に開催
- ・セミナーレジュメ「今後の代理店経営を考える」に記載している以下のテーマについて論議を行った。

環境変化の認識

- ・人口減少、・事故を起こさない車、・ITの進化、・人リスクを巡る顧客獲得競争、
・保険会社の営業体制の大転換、・新しいマーケットへの対応

上記の内の「保険会社の営業体制の大転換」

- ・詳細は、8/8に第19-091にて配信した議事録を参照いただきたい。

（7）第38次PIAS帰国報告会の実施

- ・帰国後研修会を7月26日（金）15:00～17:00 日本代協会議室にて開催した。
第38次PIAS報告書の冊子を席上回覧する。
- ・今後の課題
 - ・講義初日の通訳問題の解決は次年度開催の課題。保険の専門用語（日本語）が瞬時に出てこず、解説に苦慮していた。
 - ・米国保険業界は、学ぶ点はあるが日本の保険業界の将来の姿を示しているものでもないため、どこかのタイミングで一旦区切りをつけて、研修自体のあり方を論議する必要がある。（顧客本位という考え方はあまり感じなかった。また多様性ある社会であり、貧富の差も大きく、保険のあり方も歪[いびつ]であると感じた。）

（8）代理店経営サポートデスク（相談対応状況）

- ・通達、日本代協ニュース、業界紙でサポートデスクの開設を案内済。8月末時点で7件の相談

が寄せられ対応しているが、人の声で対応する安心感がある。また、現在はBCPに関する提供物の作成を急いでいる。

〔資料 報 4.〕代理店経営サポートデスク相談対応状況(P.14)

(9) 国民年金基金の加入者紹介業務の契約締結状況

- ・全国基金の各支部との契約締結状況を報告する。29 代協が締結完了、4 代協にて加入希望者紹介が行われた。4 代協（広島、三重、和歌山、愛媛）が間もなく調印予定とのことであるが、未締結の 14 代協は改めて、加入希望者紹介に関する契約締結について検討いただきたい。

〔資料 報 5.〕「国民年金基金」加入者紹介制度締結代協(P.15)

参考：公的年金を補うために有利な制度（P.16）

3. その他

(1) 2020 年度日本代協事業計画に対する提言提出依頼

【主な内容】

- ・2020 年度の日本代協の事業計画策定に関し、提言する事項があれば、理念やスローガンではなく、具体的な取り組みがイメージできる内容で、組織論議したうえでのご提出をお願いする。報告様式は自由、回答期限は 11/15(金)。

(2) 業界動向に関する情報提供

【主な内容】

・損保労連と締結した「商慣習の見直し」に関する情報

- ・昨年、損保労連と締結した「長時間労働に関する商慣習の見直し」が、製・販の間で協定を結んだことが産業界で初めてだったこともあり、今年の「連合」の方針に掲げられることになった。取り組みが評価され、損保労連の評価が大きく上がった。

・金融庁意見交換

- ・自賠償のキャッシュレス化について、意見を求められた。消費者のキャッシュレス保険料支払の件ではなく、取り扱い代理店から保険会社への精算にかかるキャッシュレスのことであったため、本来の自賠償契約者からの保険料納付にかかるキャッシュレス化(クレカ払い)の検討を改めて要請した。自賠償の取扱手数料は 1 件 1,660 円と少額であることから、クレカ手数料と銀行振替手数料「0 円」化を要請した。
- ・かんぽ生命について、意見を求められた。代理店としては他山の石として捉え、自分を律して、体制整備、顧客本位の業務運営に取り組む必要があると考えているが、今回のモニタリングで報道されている内容の募集実態が明らかになった場合、保険業法は形骸化するのではないかと回答した。

・関東財務局による 100 店アンケート(内 60 店との対話)

- ・損保代理店の抽出条件が変更となった。

・損保 3 社以上乗合、社員数 10 名以上～300 名未満、兼業代理店

- ・損保各社は上記条件に当てはまる代理店リストを提出済である。

・実施期間：2019 年 10 月～12 月

- ・実施概要：対象とする保険代理店に対し、事前に当局が質問票を送付し、アンケート調査実施。回答を基に対話訪問をする代理店を当局が選定し、体制整備状況(主に研修(D)・監査(C)ならびに不祥事件を防止する策等)の検証を行う。保険

会社の社員の同席不可。

但し、保険会社の監査手法を確認する観点から、保険会社による監査実施予定も提出させている。

- ・教育・研修に関しては、階層別、募集人ごとに教育のエビデンスが残せる「日本代協アカデミー」の仕組みは大変有用である。

年度の教育研修計画（階層別・募集人ごと）は立ててあるか、実施状況はどうか（欠席者への補講、確認テストなど募集人の理解度の把握など）をチェックし直す必要がある。研修開催に関する単なる記録だけでは不十分であり、募集人ごとに理解度まで把握できるeラーニングやロープレ実施状況のV収録まで実施している代理店もある。

- 〔資料 報7.〕1.関東財務局によるヒアリング候補の選定（P.18）
2.0826 新日本記事 内部監査と社員教育（P.19）
3.0807 日経記事 金融庁遠藤長官インタビュー（P.20）
〔席上配付資料〕関東財務局 代理店モニタリングの開始

（3）2018年度代理店統計

【主な内容】

- ・代理店実在数 180,319 店（対前年 6,414 店、昨年度は 9,310 店）3 者間契約に基づく勤務型代理店数は +93 店となった。
募集従事者数 2,064,308 人（対前年 8,580 人、昨年度は +8,623 人）
- ・募集形態別保険料構成比 代理店扱 91.4%、直扱 8.0%、仲立人 0.6%
- ・専業：副業 = 18.7%(昨年 18.9%)：81.3%、法人：個人 = 56.8%：43.2%、専属：乗合 = 77.2%(昨年 76.6%)：22.8%
- ・チャンネル別代理店数構成比 自関連 52.3%(51.7%)、専業 18.9%(19.0%)、不動産業 11.4%(11.8%)
- ・新設 8,935 店(昨年 10,108 店)、廃止 15,349 店(昨年 19,418 店)

〔資料 報8.〕損保協会集約 2018年度末 代理店統計（P.21-27）

（4）その他（情報提供）

情報提供

- ・JCMの買取提案ちらしの請求先 URL http://www.jcmnet.co.jp/a_flyer/
- ・損保クラウドの活用を推奨する。セキュリティの強固な大企業は侵入が難しいことから、対策が行き届いていない小規模先を狙い、そこから取引ある大企業等に侵入するサイバー攻撃（「サプライチェーン攻撃」）が横行することが想定されており、未対応は代理店の委託問題にも影響する可能性が高い。

- 〔資料 報9.〕1.JCM 買取提案チラシ、2.7月買取上位 10 台、3.7月買取実績（P.28-32）
4.損保クラウドパンフレット（P.33-36）
5.大阪代協好取組紹介
（セミナーチラシ、URL、大阪府との事業連携協定）（P.37-40）
6.福岡県代協好取組紹介（セミナー・研修、座談会）（P.41-48）
7.0805 保毎記事 代理店賠償 chubb 黒田部長セミナー紹介（P.49）

2019年 最低賃金目安の確認

中央最低賃金審議会(厚労相の諮問機関)は2019年度の地区別最低賃金の引上げを決めた。引上げ額 26～28 円、東京、神奈川は時給 1,000 円を超える。

各代協事務局員や各会員従業員に対し、改定対応が必要となる。

〔資料 報 10.〕0801 日経記事 2019 年度 地区別最低賃金時間額目安 (P.50)

2019 年度版「代協活動の現状と課題」

2019 年度版冊子は、9 月 20 日(金)に全会員あてに発送する。

第 6 回損害保険鑑定人フォーラム

2019 年 11 月 8 日(金)～9 日(土) 損害保険鑑定人フォーラムがお茶の水ソラシティカンファレンスセンター2F にて開催される。今年は第一部で顧客本位の業務運営を取り上げ、日本代協アドバイザーの錦野裕宗弁護士と日本代協の中島克海理事が講演とパネルディスカッションに登壇する。

〔席上配付資料〕第 6 回損害保険鑑定人フォーラム案内ちらし

〔監事講評〕

杉本監事から以下の通り監事講評があった。

- ・ 2 件の審議事項と報告事項について適正に議事運営がなされたものと判断する。

審議事項は 2 件であったため、地域担当理事、委員会担当理事の報告がゆっくりと聴けた。ブロックごとの事業計画アクションシートがわかり易く、活動状況がよく理解できた。特に、九州担当の井上理事の理事通信や理事寸評は素晴らしく、興味深く拝見した。

重点事業である「日本代協アカデミー」が 10 月から本格展開となる。今月中に利用者が爆発的に増え、募集品質の向上につながることを願っている。

業界では、マーケット環境の変化、お客さまニーズの変化、テクノロジーの変化に対応して、営業スタイルや業務プロセスの見直しなど対応策を進めなければならない。

日本代協アカデミーによる情報提供と教育支援コンテンツ、代理店経営サポート室の運営が、事業環境変化への支援ツールとなりうるよう大きな事業となることを期待する。

以上

< 諸会議開催予定 >

2019年09月～2020年06月のスケジュール (案)

損保会館の予約状況ならびに会議体のあり方の改定状況によっては、日程の変更がありますので、予めご了承ください。

2019年度	9月12日(木)	10:30～12:00 13:00～17:00	正副会長打合せ 第4回理事会 テーマ:通常議題	日本代協 会議室
	9月13日(金)	11:00～17:00 17:00～18:10 18:20～19:30	第1回ブロック長懇談会 情報提供:好取組事例の紹介 同上懇親会(有志・会費制)	損保会館 大会議室 会場 損保会館3F食堂
	10月10日(木)	10:30～17:00	正副会長専務理事常務理事打合せ	日本代協 会議室
	10月11日(金)	9:30～10:45 11:00～17:00 18:00～	正副会長打ち合わせ 第5回理事会 テーマ:通常議題 損保協会との懇談会(損保協会 主催) (正副会長と3理事)	日本代協 会議室 会場 とうふ屋うかい 芝
	11月1日(金)	13:00～20:00	第9回日本代協コンベンション	グランドニッコー東京 台場
	11月2日(土)	10:00～12:00	第9回日本代協コンベンション分科会	損保会館、ホテルジュラク他
	12月9日(月)	10:30～12:00 13:00～17:00	正副会長打合せ 第6回理事会 テーマ:通常議題	日本代協 会議室
	12月10日(火)	11:00～17:00 17:00～18:00 18:10～19:30	第2回ブロック長懇談会 セミナー 同上懇親会(有志・会費制)	損保会館 大会議室 会場 損保会館3F食堂
	2月7日(金)	9:15～10:15 10:30～12:00 13:00～17:30 18:00～	正副会長打合せ 財務委員会 第7回理事会 テーマ:事業計画案、他通常議題 損保協会との懇談会(損保協会 主催) (正副会長と3理事)	日本代協 会議室 会場 未定
	3月9日(月)	10:30～12:00 13:00～17:00	正副会長打合せ 第8回理事会	日本代協 会議室
	3月10日(火)	10:00～12:00 13:00～18:00 18:10～19:30	臨時総会 政連通常代議員会・第2回全国会長懇談会 同上懇談会(有志・立食・会費制を予定)	損保会館 2F(大会議室) " 会場 損保会館3F食堂
	2020年度	5月8日(金)	10:30～12:00 13:00～17:00	正副会長打ち合わせ 第1回理事会 テーマ:通常課題
6月15日(月)		10:30～12:00 13:00～17:00	正副会長打合せ 理事・理事候補者情報交換	日本代協 会議室
6月16日(火)		10:00～ 11:30～12:00 13:00～14:00 14:00～17:00 17:15～18:15 18:30～19:30	来賓ご挨拶 / 通常総会 新体制理事会(2020年度第2回理事会) 政治連盟臨時代議員会 第1回全国会長懇談会 セミナー(予定) 同上懇談会(有志・立食・会費制を予定)	損保会館2F(大会議室)確定 損保会館 (3F)
6月17日(水)		9:30～16:00 9:30～12:30	新任会長オリエンテーション 新体制理事打合せ	日本代協会議室 有楽町リファレンス205会議室

以上をもって、議長は理事会の終了を宣し、午後5時02分閉会した。
上記理事会議事録を作成し、議長並びに議事録署名人が記名押印する。

2019年9月12日

議長 会長 金子 智明 印

議事録署名人 監事 杉本 恭三 印

議事録署名人 監事 渡辺 眞一 印

議事録署名人 監事 吉川 正幸 印